平成30年度 学長戦略経費(公募型プロジェクト)研究成果概要報告書

経費の種類	■共同研究推進 □若手教員研究支援 □個人研究支援			
	□研究推進重点設備 □研究推進設備修繕			
プロジェクトの名称	発達障害児の認知特性を総合的に把握し、効果的な支援を提供する XBA アプロー			
	チの開発			
報告者氏名・所属・職名	加藤 順也・北海道教育大学附属特別支援学校・教諭			
	加藤 順也・北海道教育大学附属特別支援学校・教諭 北村 博幸・北海道教育大学 函館校・教授 宮下 知子・北海道教育大学附属特別支援学校・教諭(学部主事)			

研究内容及び成果の概要

発達に遅れや偏りがある児童生徒の指導・支援において、本人の認知特性を総合的に把握することは重要である。認知特性の把握には個別の心理検査や認知検査を実施することが一般的であるが、認知特性の総合的な把握には複数の検査を実施する必要がある。しかし、複数の検査を実施した場合には、それぞれの検査が依拠する背景理論の相違から、検査結果を解釈し、指導・支援につなげていく際の難しさがあった。

この課題点に対し、本研究ではXBAアプローチの開発を行った。XBAアプローチはCHC理論という知能理論に基づき検査結果を解釈するもので、それぞれの検査が依拠する背景理論が異なる場合も適応可能な利点がある。

具体的なCHC理論における各検査項目は右図の通りである。背景理論の異なる複数の検査を実施した場合でも、右図におけるCHCコンポーネントと下位検査の分類に基づき解釈を進めることで、発達に遅れや偏りがある児童・生徒の認知特性を総合的に把握することが可能になると考えられる。さらに、より有効な指導・支援へとつなげることが可能になると考えられる。

Glr	E #0=7.48 1 4A +				
	長期記憶と検索		語の学習(学習) 語の学習遅延(学習)		
Gsm	短期記憶	数唱(WMI) 語音整列(WMI)	数唱(継次) 語の配列(継次) 手の動作(継次)	単語の記憶(継次) 文の記憶(継次) 統語の理解(継次)	
Gv	視覚処理	積木模様(PRI) 行列推理(PRI) 絵の完成(PRI)	顔さがし(同時) 近道さがし(同時) 模様の構成(同時)		
Gs	処理速度	符号(PSI) 記号探し(PSI) 絵の抹消(PSI)			
Gf	流動性推理	類似(VCI) 語の推理(VCI) 行列推理(PRI) 絵の概念(PRI) 算数(WMI)	物語の完成(計画) パターン推理(計画)		
Gc	結晶性能力	類似(VCI) 単語(VCI) 理解(VCI) 知識(VCI) 語の推理(VCI)	表現語彙(語彙) なぞなぞ(語彙) 理解語彙(語彙)	関係の理解(同時)	
Gq	量的知識	算数(WMI)	数的推論(算数) 計算(算数)		
Grw	読み書き		ことばの読み(読み) 文の理解(読み) ことばの書き(書き) 文の構成(書き)		
Ga	聴覚処理	•			
Gt	決定/反応時間または速度				

成果の公表の状況

【著書】

【学術論文】

教育現場で活用可能な分野・教材等

CHC理論における個別の心理検査及び認知検査の下位検査分類の開発

配布又はダウンロード可能な資料

問合わせ先

代表者:加藤 順也

電話: 0138-46-2515 FAX : 0138-47-8729

mail : kato. junya@h. hokkyodai. ac. jp